

オーラルヒストリー班の活動について

オーラルヒストリー班では、かつて対馬で活用されていた地舟の用途と、舟グローの歴史について調べています。この記事では取材をしてわかった主な内容を紹介します。

《地舟の主な用途》

- ・村々を結ぶ大切な交通手段
- ・祭りでの舟グロー
- ・漁や農作業用の物の輸送
- ・牛や馬の輸送
- ・韓国までの移動
- ・食材の運搬



舟グローは江戸時代、浅茅湾(図※1)をはじめ、対馬各港で祭りの行事のひとつとして盛んでした。

※3 和多都美神社

※1 浅茅湾

※2 万関橋

《舟グローの歴史》

江戸時代から続く伝統行事舟グローは、戦前まで旧海軍記念日や村祭りで盛んに行われてきました。しかし戦後は、昭和31年の万関橋(図※2)架け替え祝賀行事を最後に、人手不足などが原因でその伝統は完全に廃れたそうです。その後、地元住民らによってしばらく執り行われたものの、2015年以降は過疎化や高齢化が原因でいったん休止となりました。しかし、和多都美神社(図※3)では、豊玉高校生が参加をすることで一昨年6年ぶりに奉納行事舟グローが復活しました。今では上対馬と豊玉で舟グローを再開しているそうです。

舟グローの歴史について取材する中で、舟グローが長い伝統を持っていることを知ることができました。対馬の人はもちろん、島外の人にも知ってもらいたいと思いました。

記事編集者 2年 樺次 司

